

県北地域感染症流行状況

ヘルパンギーナが流行しています！

○県内の流行状況

	第27週 (7/3~9)		第28週 (7/10~16)		第29週 (7/17~23)	
	報告数	1 定点あたり	報告数	1 定点あたり	報告数	1 定点あたり
福島県	338	6.9	398	8.1	353	7.2
県北地域	28	5.6	39	7.8	42	8.4

3週間のうちに、報告数と1 定点あたりの報告数ともに約1.5倍増加しています！！
これ以上感染拡大しないよう、一人ひとりが意識して予防していく必要があります。

○ヘルパンギーナとは？

発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏から秋にかけて流行します。

乳幼児（特に1歳児）がかかることが多く、症状は39℃以上の発熱、口腔内にできる水疱、咽頭痛があります。

水疱は解熱後7日程度で治癒しますが、水疱による咽頭痛のため、哺乳不良や食欲低下による脱水症状に注意が必要です！

○予防方法

- 手洗いとうがい、手指消毒を徹底する
- 症状があるときや人混みに行くときなどは、マスクを着用する
- 十分な休養とバランスの良い食事を摂る
- 室内を適度な湿度に保つ
- こまめに換気をする



1人ひとりが予防行動を心がけ、免疫機能が未熟な乳幼児に極力うつさないようにしましょう。
また、症状が続く場合は早めに医療機関を受診してください！

肝炎を予防しましょう！

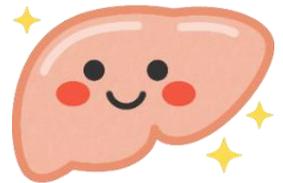
肝臓週間（7月24日～30日）、日本肝炎デー（7月28日）

○ウイルス性肝炎について

ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの**肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気**です。A・E型肝炎ウイルスは主に**食べ物**を介して感染し、B・C・D型肝炎ウイルスは主に**血液**（体液）を介して感染します。その中でもB・C型肝炎ウイルスについては、感染すると**慢性の肝臓病を引き起こす原因**ともなります。

○症状

倦怠感、食欲不振、吐き気、黄疸などの症状が出る場合がありますが、全く症状が出ないこともあります。



○肝炎ウイルス検査について

- ・感染しているかどうかは、**血液検査**で知ることができます。
- ・保健所や市町村、職場の健診で肝炎ウイルス検査を受けることができます。
- ・**県北保健所では、8月から肝炎ウイルス検査を再開**します！



受付時間	通常（即日）検査	毎週月曜日	9：00～10：30
	夜間検査	第1・3月曜日	17：30～18：00

詳しくは、**県北保健所 感染症予防チーム（024-534-4113）**にご相談ください！

- ・健診に関する詳細は、お住まいの市町村や職場にご相談ください。

○予防法 ～B型・C型肝炎～

- ・歯ブラシやカミソリなど、血液が付く可能性のあるものは**共用しない**ようにしましょう。
- ・血液や分泌物がついたものは、**直接触れない**ように注意しましょう。他人の手当をするときなど、血液や分泌物に触れる機会があるときは、手袋を装着するなど工夫しましょう。
- ・B型肝炎は、**ワクチン**を接種することで予防することができます！



B型ワクチン
接種スケジュール

小児の定期接種	大人の任意接種（自己負担）
接種時期： 1歳未満 接種回数： 3回 1回目：生後2ヵ月、 2回目：生後3ヵ月、 3回目：生後7～8ヵ月	B型肝炎ウイルスに感染している家族がいる場合や、血液や体液に触れる機会の多い方 （医療従事者や介護職員など）は、特にB型肝炎ワクチンの接種をおすすめします。

B型、C型肝炎の**早期発見と早期治療**のために、予防法を意識して行動しましょう。

参考：厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp>）、国立感染症研究所（<https://www.niid.go.jp>）、
こどもとおとなのワクチンサイト（<https://www.vaccine4all.jp/>） 福島県ホームページ（<https://www.pref.fukushima.lg.jp>）

発行日：令和5年8月1日

発行元：福島県県北保健所 医療薬事課 感染症予防チーム

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード

福島県県北保健所

